

大我…スピリチュアルな愛

自分以外の人のため、人類全体のために尽くそうとする心のありよう。真実の愛のこと。見返りを求めず、自分を無にして人のために尽くす「滅私」の心。

小我…自己中心的な愛

自分だけに執着する心のありよう。自分の利益、自分の快樂だけを中心に考える、「わが身がかわいい」という気持ち。物質的価値観のエゴ。わがまま。

(人は誰でも小我を持っていますが、この小我を克服しないと、幸福になれません。わが身がかわいいと思う気持ち、結果的にはわが身を滅ぼすのです。逆に、自分のわがままを抑え、心の底から相手のことを思う気持ちになって初めて、真実の幸せが訪れます。ジャッジを下すときは、自分の心にあるものが小我か大我かをまず問いかけてください。)

物質的価値観

金銭やモノ、世間体や見栄、名誉や地位など、目に見えて評価できる物質的なものによる価値観。

目に見えない精神的な豊かさ、たましいの充実を大切に考える

スピリチュアルな価値観と対極にあるもの。

(戦後の日本は、物資の窮乏と敗戦のショックによって、この物質的価値観が蔓延するようになりました。現代社会の歪みや問題は、その多くがこの価値観によるものです。分かれ道に立ったとき、物質的価値観で判断すると間違えます。どちらがより儲かるか、より世間体がいいか、そういった価値基準で選んだ道が、明るい未来に続くことはまずありません。)

波長の法則

人の心が発する波長(エネルギー)は、同じ性質のものを引きよせる、という法則。「類は友を呼ぶ」ということです。愛や喜びなどポジティブな波長を出せば、ポジティブな人やものが集まってくる。

恨みや憎しみなどネガティブな波長を出せば、ネガティブな人やものが集まってくるのです。

カルマの法則

自分のしたことは、いいことも悪いことも、すべて自分に返ってくる、という法則。「自分で蒔いた種は、自分で刈りとらなくてはいけない」ということです。笑顔ひとつでもプラスのカルマになって、同じように気持ちのいい出来事が訪れます。人を妬んだり憎んだりするマイナスのカルマをつくれれば、同じように人から妬まれたり憎まれたりするのです。

(何かの問題が生じたときは、今、なぜこの事態が起きたのか、まずその原因を探ることが大切です。それがわかれば、同じことをくり返さないよう、気をつけることができるからです。また、ひとつの道を選ぶとき、それがどういう結果につながるかを予測することも必要です。そのとき役立つのが、この「波長の法則」「カルマの法則」の二つの法則です。

分かれ道に立つことになったのは、自分がどういう波長を出していたからか、どういうカルマをつくったからなのか、考えてください。

また、ひとつの道を選んだときに、どういう波長を出すことになるか、どういうカルマをつくることになるかも考えましょう。そうすれば、自分自身でその道の先に何が待っているか、予見することができるのです。)

スピリチュアル・ジャッジ 三笠書房 江原啓之